



平成 17 年 11 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社ジェーシー・コムサ
代 表 者 代表取締役社長 和 田 隆 介
(コード番号 2876)
問 合 せ 先 責任者役職名 専務取締役
氏 名 野 田 忠 克
電 話 03-5722-7261(代表)

「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴う特別損失の計上並びに平成 18 年 3 月期(連結・個別)業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

平成17年5月20日付当社「平成17年3月期決算短信(連結)」及び「平成17年3月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました、平成18年3月期(平成17年4月1日～平成18年3月31日)の業績予想及び期末配当予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴う特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」を平成 18 年3月期より適用することに伴い、当社及び当社の子会社が所有する固定資産等について減損の測定を綿密に行いました結果、連結で、遊休資産と外食店舗 42 店の減損損失として 378 百万円の特別損失を計上する見通しであります。

一方個別では、遊休資産と外食店舗 27 店の減損損失として、317 百万円の特別損失を計上する見通しであります。

2. 減損損失が業績予想に与える影響について

上記の特別損失による当期純利益への影響額は、連結で、上記特別損失からこれに係る法人税等調整額 120 百万円を控除した 258 百万円が影響額となる見通しであります。

個別においては同様に、法人税等調整額 120 百万円を控除した 197 百万円が当期純利益への影響額となる見通しであります。

3. 平成 18 年 3 月期業績予想の修正(平成 17 年4月1日～平成 18 年3月 31 日)

(1) 連結

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円
前回予想(A)	21,000	300	100
今回修正(B)	21,000	140	260
増減額(B - A)	0	160	360
増 減 率	-	53.3%	-
(ご参考)			
前期実績(平成 17 年3月期)	19,970	185	18

(2) 個別

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
				期末	
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
前回予想(A)	18,500	300	100	5 00	5 00
今回修正(B)	19,000	150	180	0 00	0 00
増減額(B - A)	500	150	280	5 00	5 00
増 減 率	2.7%	50.0%	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成 17 年 3 月期)	18,270	208	58	5 00	5 00

4.修正の理由(連結・個別)

売上高は、外食事業を中心に比較的好調に推移する見通しで、このセグメントにおける利益は前期を上回る予想であり、また、管理部門においてもグループ全体の事務の集中化等により、費用を削減する見通しであります。これらの要因により約 100 百万円の経常利益が増加となる見通しではありますが、ピザ事業における原料チーズの高騰から来る製品原価上昇に対して、販売価格への転嫁が遅れていることと、10月に完成したエスニックブレッド新ラインの稼働率向上が当初より遅れる見通しであることにより、経常利益の減少が約 250 百万円予想されるため、合計では当初予想を下回る見通しであります。

配当については、多額の特別損失の計上により、当期純損失(個別)が 180 百万円となる見通しであり、前期繰越利益 50 百万円を補填しても未処理損失が 130 百万円残る見通しとなり、剰余金の取崩額をできるだけ減らすため、当期については無配となる予定であります。

なお、前期に比べて利益が減少している主な要因は、日本ケンタッキー・フライドチキン(株)と締結した契約にもとづくセールスプロモーションビジネスが、平成 16 年 9 月末で終了し、これによる経常利益が 75 百万円減少したためであります。

以上